

# 街かど



## 「虹の峠から」

### 中村周一さん自費出版

本町善久にお住まいの中村周一さん(七十三歳)が、「虹の峠から」という本を自費出版されました。

中村さんは、戦中は大野小、板井小で教職を勤め、戦後は黒埼中学校で教頭職に七年間おられました。

「虹の峠から」にも、そんな長い教育者としての経験が十分に生かされています。例えば、校内暴力問題についても、「ほんとに悪い子供などはいません。学校内に警官が入るなど教師がその勤めを放棄したということですよ。また、学校だけでなく家庭や社会から改善しなければならぬ」と書かれています。

また、農業問題についても、アールコール農業を提唱するなど、独特の観点からさまざまな問題について述べられています。

昨年にも、「古桶のたわごと」という本も出版され、来年は、長年書きためた詩をまとめて出版したいとのこと。

「できたら、黒埼町にも町史が欲しいですね。国語の教師でしたから書くことはなんとかなるんですけど、資料が無くて」と町史にも興味を持っておられるようです。

なお、「虹の峠から」は各小学校、公民館に中村さんのご好意で寄贈されていますので、ぜひ一読を。



日本赤十字社

日本赤十字社は「博愛と人道」を目標として、各国の赤十字社と協力して人類のしあわせと世界平和のために数々の救援活動を行っています。また、国内では献血事業や小学校児童への黄色い安全帽

## 七月の短歌

## 短歌会

尊徳像建替により戴きし胸像いとわが庭に和す……………柏 直樹地  
 腹痛に夜は眠れず明けを待つ窓暗々と雨の音せり……………松沢 虎男  
 久方に遠来の友をもてなすにあじさい活けて床に飾れり……………金内 セツ  
 念願の仏壇買ひし老夫婦居ける吾等を待ちわびしといふ……………乙川 竹  
 難無しと蒲原神社のお託宣聞き来し農夫ら喜々と語れり……………阿部 淳子  
 桃の葉にあせもの孫を洗ひつわが背をなでし母の手を恋ふ……………泉井 ヨ子  
 恵むこと施すことも乏しくは吾はこの先何年世にある……………酒井 庄平  
 川べりの寒に夕風渡り来て影長くして静まりにけり……………小出美喜子

## 杜費納入

子の配布など多くの奉仕事業を行い、みなさんの福祉生活に大いに貢献しています。

さる四月から、日本赤十字社の杜費納入をお願いしてきましたが、みなさんのご理解ご協力を賜わり本町世帯数の八四パーセント(四二九二世帯)の方がたから一六五万九八五円の納入をいただき、目標額を上回ることでできました。あつくお礼申し上げます。

また、寺地中の小川隆道さん(三十七歳)は、五十三年以来、毎年多額の杜費を納入され、この格別のご功勞に対し金色有効章と特別社員の称号が贈られました。今後も日本赤十字社にご協力を賜われますようお願いいたします。



街かどでは、皆さんの募集、編集、印刷、配付、販売、など、ご協力をお願いいたします。また、意見や要望などをお知らせください。ご協力をお願いします。

編集 尾崎 隆夫  
 印刷 尾崎 隆夫  
 配付 尾崎 隆夫  
 販売 尾崎 隆夫  
 電話 〇七三〇〇〇

▲中村周一さん

